神奈川県
統計センター

神 奈 川 県 景 気 動 向 指 数
令和8(2026)年8月分(速報)

神奈川ＣＩの概要

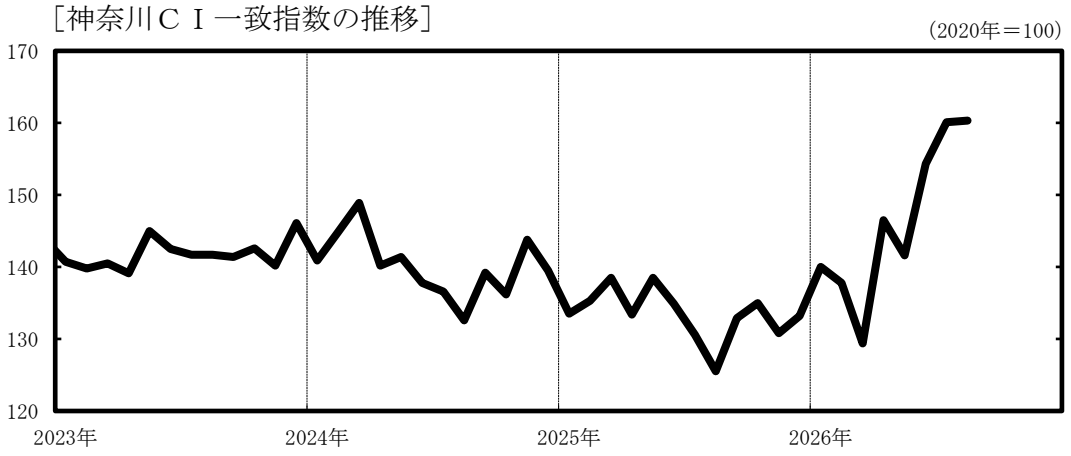
神奈川ＣＩ一致指数（2020年=100）は160.3となり、前月と比較して0.2ポイント上昇し、３か月連続の上昇となった。

［神奈川ＣＩ一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度］

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
県投資財出荷指数	1.53	県雇用保険初回受給者数（逆）	-2.27
横浜港等輸出入通関実績	1.23	県生産指数（製造工業）	-0.92
県耐久消費財出荷指数	0.76	県所定外労働時間指数（計）	-0.79
県業況判断DI（全産業）	0.66		

（計）：調査産業計、（逆）：逆サイクル

［神奈川ＣＩ一致指数の推移］



（参考）ＫＤＩの概要

ＫＤＩ一致指数は、85.7となり、３か月連続で50.0%を上回った。

令和８(2026)年９月分の公表予定：令和８(2026)年11月30日（月）14時

[2026年10月発行]

目　　次

１．神奈川ＣＩ先行指数の動向……P１
２．神奈川ＣＩ一致指数の動向……P２
３．神奈川ＣＩ遅行指数の動向……P３
４．神奈川ＣＩ時系列グラフ……P４
５．神奈川ＣＩ時系列表……P５
６．（参考）ＫＤＩの動向……P７
７．（参考）ＫＤＩ累積一致指数短期時系列グラフ……P８
８．（参考）ＫＤＩ累積指数長期時系列グラフ……P８
９．（参考）ＫＤＩ時系列グラフ……P９
10．（参考）ＫＤＩ時系列表……P10
11．神奈川県景気動向指数個別系列の数値……P12
12．神奈川県景気基準日付……P13
13．神奈川県景気動向指数個別系列の概要……P13
14．利用の手引き……P14

景気動向指数とは

1　景気動向指数とは、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することにより、景気の現状把握及び将来予測に資するために作成された指標です。

2　内閣府経済社会総合研究所において全国の景気動向指数であるＣＩとＤＩを作成しており、神奈川県では県版ＣＩとして「神奈川ＣＩ」を、県版ＤＩとして「ＫＤＩ」を作成しています。

3　神奈川ＣＩは、指数の変化の大きさから、過去と比較した相対的な景気変動の大きさを読み取ります。

4　ＫＤＩは、採用系列のうち改善している指標の割合のことで、一般的には、景気の拡張期には一致指数が50%を上回る期間が多くなり、50%を下回る期間が連続すると後退期の可能性があります。

5　神奈川ＣＩとＫＤＩの構成指標は共通としています。

利用上の注意

・採用している基礎統計が確報値を公表するなどした場合、過去にさかのぼって改訂します。
・未発表の系列がある月については、現時点で得られる値のみで求めています。その際、得られなかった値については空欄としています。

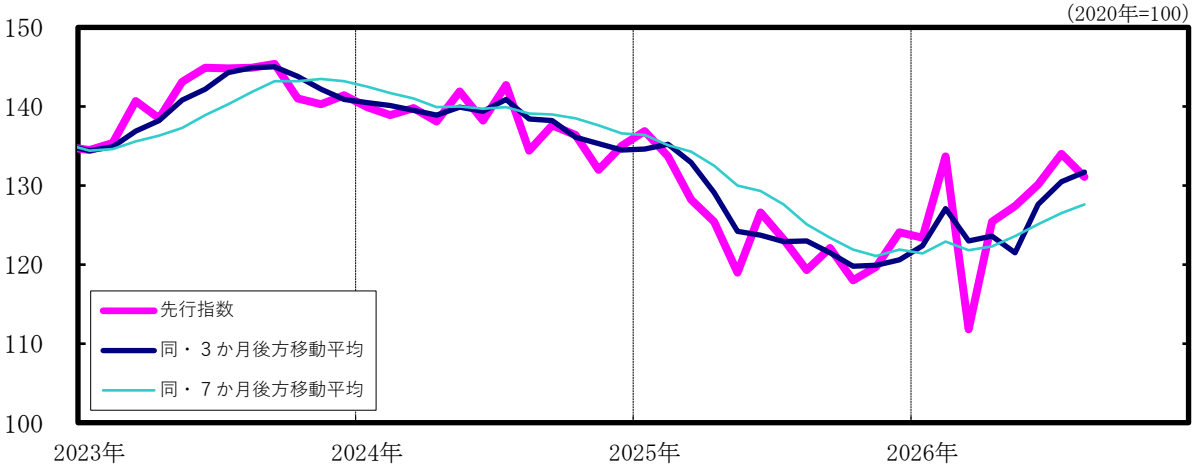
詳細については、「14.利用の手引き」を参照して下さい。

１．神奈川ＣＩ先行指数の動向

（１）８月分の先行指数の動き

神奈川ＣＩ先行指数（2020年=100）は、131.1となり、前月と比較して2.9ポイント下降し、５か月ぶりの下降となった。３か月後方移動平均は1.23ポイント上昇し、３か月連続の上昇、７か月後方移動平均は1.10ポイント上昇し、５か月連続の上昇となった。

（２）先行指数の推移



（３）先行指数採用系列の寄与度

		2026年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
神奈川ＣＩ先行指数		111.8	125.4	127.4	130.1	134.0	131.1
	前月差(ポイント)	-21.9	13.6	2.0	2.7	3.9	-2.9
L1 県最終需要財在庫率指数(逆サイクル)	前月差	22.9	269.0	-217.3	-50.9	1.8	-2.9
	寄与度	-3.69	-0.90	3.35	2.92	-0.33	0.49
L2 県生産財在庫率指数(逆サイクル)	前月差	16.7	-18.0	1.4	0.5	-4.0	7.9
	寄与度	-4.49	5.21	-0.23	0.06	1.46	-2.25
L3 県新規求人数(除く学卒)	前月比伸び率(%)	9.1	6.5	-6.1	-2.2	6.9	-5.8
	寄与度	-0.55	1.86	-2.01	-0.70	2.22	-1.98
L4 県乗用車新車新規登録･届出台数	前月比伸び率(%)	-12.8	24.2	-7.8	3.4	-4.3	-4.9
	寄与度	-3.97	5.19	-2.50	0.87	-1.50	-1.68
L5 消費者態度指数(関東)	前月差	-5.8	-1.4	1.2	0.6	0.8	0.4
	寄与度	-6.53	-1.48	1.42	0.79	1.01	0.51
L6 県企業倒産件数(逆サイクル)	前月比伸び率(%)	68.6	-22.0	-6.5	7.0	4.3	-16.7
	寄与度	-2.31	1.14	0.36	-0.31	-0.19	0.95
L7 日経商品指数(42種)	前月比伸び率(%)	1.8	3.5	2.1	-1.2	1.3	1.2
	寄与度	-0.51	2.15	1.16	-1.53	0.66	0.58
一致指数トレンド成分	寄与度	0.10	0.47	0.45	0.56	0.61	0.50

3か月後方移動平均		123.0	123.6	121.5	127.6	130.5	131.7
	前月差(ポイント)	-4.10	0.66	-2.10	6.10	2.87	1.23
7か月後方移動平均		121.8	122.3	123.6	125.1	126.5	127.6
	前月差(ポイント)	-1.07	0.47	1.34	1.49	1.41	1.10

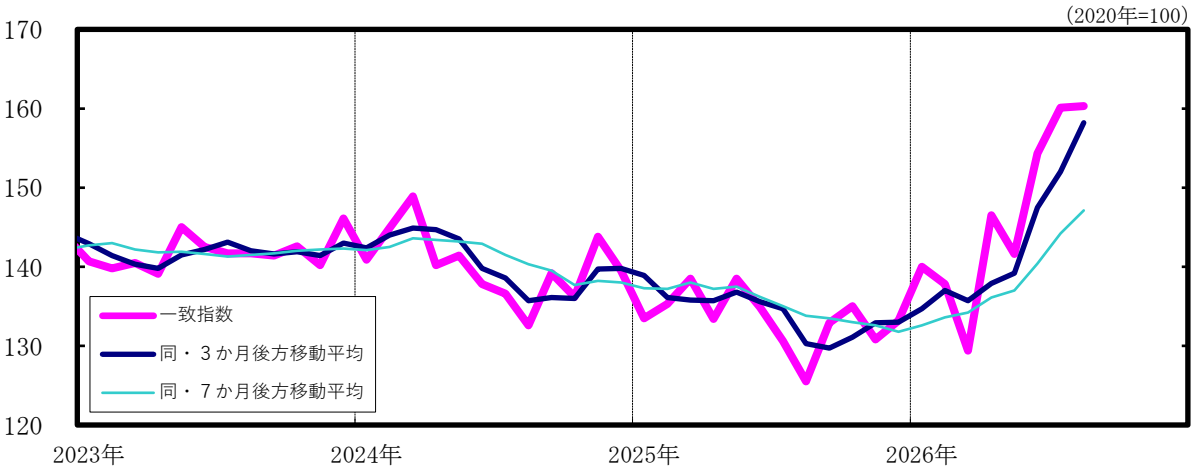
寄　与　度：神奈川ＣＩの前月からの変化（前月差）が、各採用系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。
逆サイクル：指標の数値の上昇、下降が景気の動きと反対になることをいいます。したがって、数値の前月差及び前月比伸び率がプラス（マイナス）になれば、神奈川ＣＩ先行指数に対する寄与度のマイナス（プラス）要因になります。

２．神奈川ＣＩ一致指数の動向

（１）８月分の一致指数の動き

神奈川ＣＩ一致指数（2020年=100）は、160.3となり、前月と比較して0.2ポイント上昇し、３か月連続の上昇となった。３か月後方移動平均は6.23ポイント上昇し、５か月連続の上昇、７か月後方移動平均は2.90ポイント上昇し、８か月連続の上昇となった。

（２）一致指数の推移



（３）一致指数採用系列の寄与度

		2026年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
神奈川ＣＩ一致指数		129.4	146.5	141.6	154.3	160.1	160.3
	前月差(ポイント)	-8.4	17.1	-4.9	12.7	5.8	0.2
C1 県生産指数(製造工業)	前月比伸び率(%)	-8.3	14.1	-12.1	13.7	7.0	-2.7
	寄与度	-2.41	3.78	-2.81	3.96	2.18	-0.92
C2 県業況判断DI(全産業)	前月差	0.7	-0.3	-0.4	-0.3	1.3	1.4
	寄与度	0.19	0.03	-0.32	-0.26	0.60	0.66
C3 県投資財出荷指数	前月比伸び率(%)	-18.0	24.8	-25.6	23.6	9.6	7.4
	寄与度	-2.73	4.03	-2.89	4.07	1.91	1.53
C4 県耐久消費財出荷指数	前月比伸び率(%)	0.9	18.7	-0.6	105.1	-1.2	7.1
	寄与度	0.10	1.48	0.14	4.79	0.09	0.76
C5 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	前月比伸び率(%)	48.1	-23.1	4.8	11.8	-32.0	11.0
	寄与度	-3.86	4.90	-0.91	-2.25	4.59	-2.27
C6 県所定外労働時間指数(調査産業計)	前月比伸び率(%)	1.9	7.9	0.0	2.1	-9.1	-1.9
	寄与度	0.63	2.66	-0.02	0.77	-2.69	-0.79
C7 横浜港等輸出入通関実績	前月比伸び率(%)	-1.0	-4.4	7.4	6.1	-2.8	4.3
	寄与度	-0.30	0.15	1.93	1.63	-0.92	1.23
3か月後方移動平均		135.7	137.9	139.2	147.5	152.0	158.2
	前月差(ポイント)	-1.27	2.17	1.27	8.30	4.53	6.23
7か月後方移動平均		134.2	136.1	137.0	140.4	144.2	147.1
	前月差(ポイント)	0.56	1.94	0.94	3.36	3.84	2.90

（注）ＣＩはトレンド（長期的すう勢）と、トレンド周りの変化を合成して作成されますが、トレンドの計算に当たっては、未発表の系列（前月比伸び率（%）が未記入である系列）についても、過去のデータから算出した長期的傾向（トレンド成分）を使用しています。そのため、系列が未公表の場合においてもトレンドによる寄与度を表示しています。

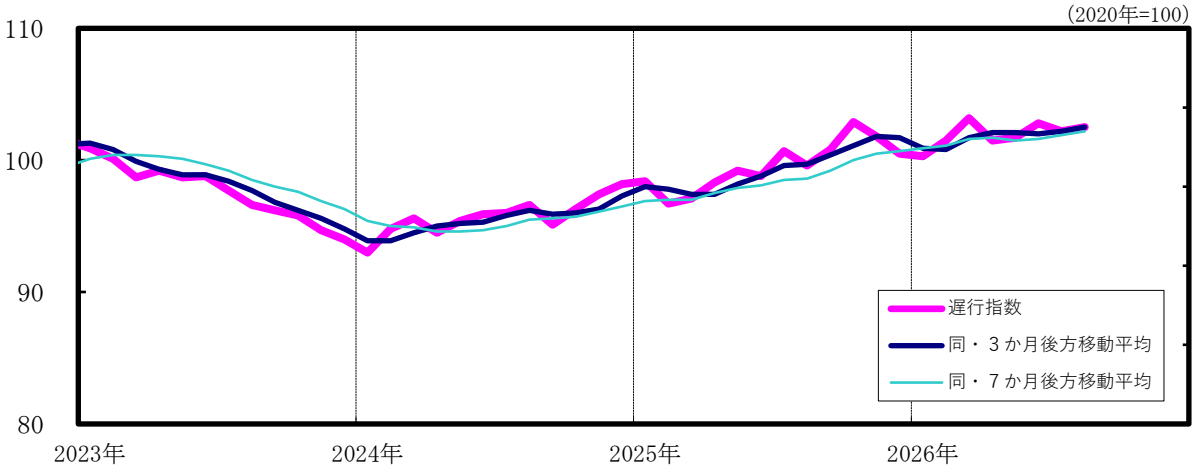
寄　与　度：神奈川ＣＩの前月からの変化（前月差）が、各採用系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。
逆サイクル：指標の数値の上昇、下降が景気の動きと反対になることをいいます。したがって、数値の前月差及び前月比伸び率がプラス（マイナス）になれば、神奈川ＣＩ先行指数に対する寄与度のマイナス（プラス）要因になります。

３．神奈川ＣＩ遅行指数の動向

（１）８月分の遅行指数の動き

神奈川ＣＩ遅行指数（2020年=100）は、102.5となり、前月と比較して0.3ポイント上昇し、２か月ぶりの上昇となった。３か月後方移動平均は0.27ポイント上昇し、２か月連続の上昇、７か月後方移動平均は0.31ポイント上昇し、３か月連続の上昇となった。

（２）遅行指数の推移



（３）遅行指数採用系列の寄与度

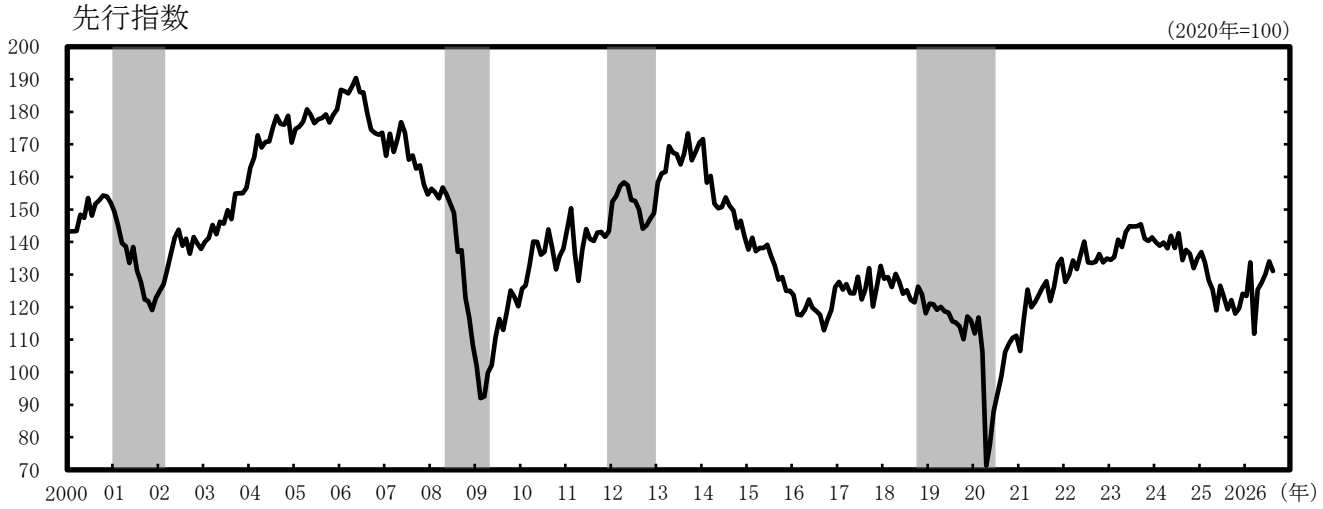
		2026年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
神奈川ＣＩ遅行指数		103.2	101.5	101.7	102.8	102.2	102.5
	前月差(ポイント)	1.7	−1.7	0.2	1.1	−0.6	0.3
Lg1 県在庫指数(製造工業)	前月比伸び率(%)	9.5	−6.3	5.1	8.7	−5.5	−4.2
	寄与度	1.12	−0.99	0.71	0.96	−0.88	−0.65
Lg2 県普通営業倉庫保管残高	前月比伸び率(%)	0.2	1.6	−2.5	0.3	2.3	2.9
	寄与度	0.00	0.28	−0.56	0.03	0.42	0.53
Lg3 県常用雇用指数(調査産業計)	前月差	0.5	−0.8	0.3	−0.1	0.0	0.5
	寄与度	0.34	−0.56	0.23	−0.06	0.02	0.37
Lg4 県有効求職者数(除く学卒)(逆サイクル)	前月比伸び率(%)	−0.6	1.4	1.4	0.5	0.1	0.9
	寄与度	0.21	−0.50	−0.49	−0.16	−0.02	−0.28
Lg5 家計消費支出(関東地方・勤労者世帯)	前月差	−3.4	1.2	0.2	1.0	−14.6	3.2
	寄与度	−0.18	0.06	0.02	0.05	−0.76	0.18
Lg6 消費者物価指数(横浜市・除く生鮮食品)	前月差	0.1	−0.2	0.0	−0.1	0.1	−0.1
	寄与度	0.09	−0.34	−0.05	−0.19	0.10	−0.17
一致指数トレンド成分	寄与度	0.09	0.41	0.37	0.45	0.47	0.39

3か月後方移動平均		101.7	102.1	102.1	102.0	102.2	102.5
	前月差(ポイント)	0.90	0.40	0.06	−0.13	0.23	0.27
7か月後方移動平均		101.6	101.7	101.5	101.6	101.9	102.2
	前月差(ポイント)	0.51	0.10	−0.17	0.14	0.25	0.31

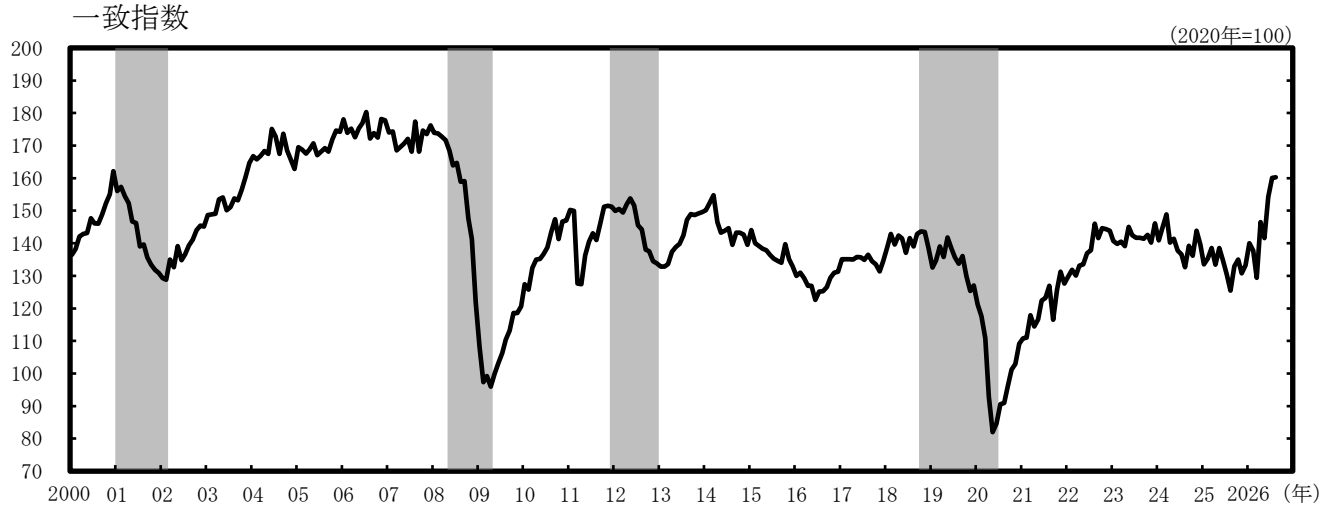
寄　与　度：神奈川ＣＩの前月からの変化（前月差）が、各採用系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。
逆サイクル：指標の数値の上昇、下降が景気の動きと反対になることをいいます。したがって、数値の前月差及び前月比伸び率がプラス（マイナス）になれば、神奈川ＣＩ先行指数に対する寄与度のマイナス（プラス）要因になります。

４．神奈川ＣＩ時系列グラフ

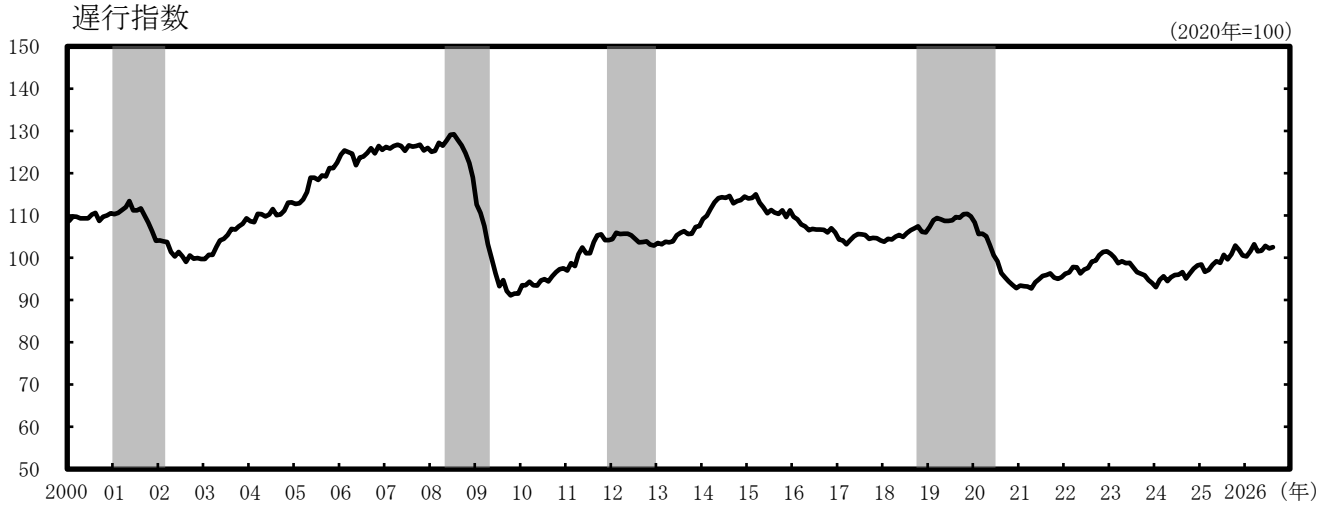
先行指数



一致指数



遅行指数



（注）網かけの部分は神奈川県の景気後退期。

５．神奈川ＣＩ時系列表

先行指数　　(2020年=100)

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2000	H12	143.3	143.3	143.4	148.4	147.4	153.5	148.1	151.7	152.8	154.3	154.0	152.0
2001	H13	149.4	145.0	139.6	138.7	133.5	138.5	131.2	127.7	122.3	121.8	119.1	122.8
2002	H14	125.0	127.1	131.4	136.5	141.4	143.8	138.9	141.0	136.4	141.5	139.4	137.9
2003	H15	140.0	141.2	145.3	142.4	146.2	145.6	149.8	147.0	154.9	155.0	155.0	156.7
2004	H16	162.9	166.0	172.8	169.1	170.7	170.9	175.1	178.7	176.3	176.0	178.8	170.5
2005	H17	174.8	175.4	177.0	180.8	179.2	176.5	177.7	178.1	179.2	176.7	179.1	180.8
2006	H18	186.8	186.4	185.7	187.8	190.4	186.1	186.0	179.7	174.6	173.5	173.0	173.6
2007	H19	166.5	173.3	167.7	171.8	176.8	173.6	165.3	166.6	162.6	163.5	157.7	154.6
2008	H20	156.4	155.3	153.4	156.8	154.6	151.6	149.0	137.0	137.5	122.9	116.6	108.4
2009	H21	101.9	92.0	92.5	99.8	102.2	110.7	116.3	113.0	118.4	125.1	123.1	120.3
2010	H22	125.7	126.7	132.8	140.1	140.0	136.1	137.0	143.9	138.2	131.6	135.6	138.0
2011	H23	144.1	150.4	136.3	128.0	137.6	144.0	140.9	140.3	142.9	143.1	141.6	143.3
2012	H24	152.4	154.1	157.2	158.3	157.4	152.9	152.6	150.1	144.1	145.2	147.1	148.9
2013	H25	158.3	161.1	161.6	169.4	167.5	167.0	163.8	167.1	173.4	165.1	167.7	170.5
2014	H26	171.6	158.2	160.3	151.7	150.4	150.8	153.7	151.2	149.7	144.3	146.5	141.6
2015	H27	137.7	141.3	137.2	138.2	138.2	139.2	135.6	132.9	128.4	129.2	125.0	125.0
2016	H28	123.7	117.7	117.5	119.3	122.3	119.8	118.8	117.6	112.9	116.1	119.1	126.2
2017	H29	127.7	125.4	127.1	124.3	124.2	129.3	122.3	125.4	132.0	120.2	126.2	132.7
2018	H30	128.7	129.2	126.2	130.2	127.8	124.1	125.2	122.2	121.4	126.3	124.0	118.1
2019	H31/R1	121.1	120.9	119.2	120.1	118.7	118.3	115.6	115.3	114.1	110.1	117.1	115.9
2020	R2	111.9	116.8	106.3	71.3	77.5	87.9	93.3	98.6	106.2	108.6	110.5	111.2
2021	R3	106.5	116.9	125.4	120.0	121.6	123.9	126.1	127.9	121.8	126.4	133.2	134.8
2022	R4	127.7	130.0	134.3	131.7	135.8	140.1	133.7	133.5	133.9	136.3	133.7	134.9
2023	R5	134.5	135.4	140.7	138.5	143.1	144.9	144.8	144.9	145.4	141.0	140.3	141.4
2024	R6	139.9	138.9	139.8	138.1	141.9	138.2	142.7	134.4	137.6	136.4	132.0	135.0
2025	R7	136.9	133.7	128.2	125.4	119.0	126.6	123.2	119.3	122.1	118.0	119.7	124.1
2026	R8	123.4	133.7	111.8	125.4	127.4	130.1	134.0	131.1				

一致指数　　(2020年=100)

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2000	H12	136.5	138.2	142.1	142.9	143.2	147.7	146.1	146.0	148.9	152.3	155.1	162.1
2001	H13	156.0	157.3	154.5	152.3	146.7	146.2	139.0	139.6	135.7	133.4	131.9	130.9
2002	H14	129.3	128.8	135.0	132.6	139.1	134.8	136.6	139.3	141.1	144.0	145.4	145.1
2003	H15	148.7	148.9	149.1	153.5	154.1	150.1	151.1	153.8	153.2	156.4	160.4	164.7
2004	H16	166.8	165.8	166.9	168.3	167.4	175.1	172.8	167.4	173.6	168.4	165.8	162.8
2005	H17	169.5	168.7	167.5	168.8	170.7	167.1	168.1	169.2	168.1	171.9	174.6	174.2
2006	H18	178.1	173.9	175.2	172.6	175.3	176.9	180.3	172.2	173.8	172.5	178.2	177.8
2007	H19	174.0	174.3	168.5	169.5	170.6	172.1	168.1	177.4	168.1	174.6	173.5	176.2
2008	H20	173.9	173.7	172.8	171.7	168.4	163.9	164.7	158.9	159.1	147.7	141.3	121.9
2009	H21	108.2	97.3	99.2	96.0	99.9	103.2	106.3	110.4	113.2	118.6	118.6	120.6
2010	H22	127.4	125.8	132.4	135.0	135.2	136.7	138.7	143.5	147.4	141.3	146.7	147.0
2011	H23	150.2	149.9	127.6	127.4	136.3	140.5	143.1	141.0	146.0	151.2	151.5	151.2
2012	H24	149.9	150.5	149.5	152.0	153.8	151.6	145.5	144.2	138.0	137.6	134.5	133.8
2013	H25	132.8	132.8	133.6	137.4	138.8	139.8	142.5	147.2	149.0	148.7	149.2	149.6
2014	H26	150.1	152.4	154.8	146.5	143.3	143.8	144.6	139.5	143.3	143.3	142.7	139.5
2015	H27	144.0	140.0	139.2	138.3	137.9	136.4	135.3	134.6	134.0	139.7	135.1	132.9
2016	H28	130.0	131.0	129.3	126.9	126.9	122.6	125.2	125.3	126.5	129.4	131.0	131.3
2017	H29	135.1	135.1	135.1	135.0	135.8	135.7	134.9	136.5	134.5	133.5	131.4	134.5
2018	H30	138.5	142.9	139.6	142.4	141.5	137.1	141.6	139.0	142.9	143.7	143.5	138.3
2019	H31/R1	132.5	134.7	139.0	135.8	141.8	138.4	135.7	133.7	136.1	129.9	125.4	127.0
2020	R2	121.2	117.6	110.8	92.9	82.0	84.7	90.6	91.0	96.0	101.2	102.9	109.1
2021	R3	110.8	111.0	117.9	114.5	116.6	122.4	123.2	126.9	116.5	125.7	131.3	127.6
2022	R4	129.8	131.9	130.1	133.1	133.5	137.0	137.9	146.0	141.6	144.6	144.3	143.8
2023	R5	140.7	139.8	140.5	139.1	145.0	142.5	141.7	141.7	141.4	142.6	140.2	146.1
2024	R6	140.9	144.9	148.9	140.2	141.4	137.8	136.6	132.6	139.2	136.2	143.8	139.5
2025	R7	133.5	135.3	138.5	133.4	138.5	134.9	130.6	125.5	132.9	135.0	130.8	133.2
2026	R8	140.0	137.8	129.4	146.5	141.6	154.3	160.1	160.3				

遅行指数 (2020年=100)

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2000	H12	108.7	109.8	109.7	109.3	109.3	109.3	110.2	110.6	108.7	109.7	110.0	110.5
2001	H13	110.3	110.6	111.3	112.0	113.4	111.2	111.2	111.7	109.9	108.3	106.3	104.0
2002	H14	104.1	103.9	103.7	101.4	100.3	101.4	100.3	99.0	100.5	99.8	99.9	99.7
2003	H15	99.7	100.7	100.7	102.6	104.1	104.5	105.4	106.8	106.7	107.4	108.0	109.3
2004	H16	108.6	108.4	110.4	110.3	109.8	110.2	111.5	110.1	110.2	111.1	113.0	113.1
2005	H17	112.7	112.9	113.8	115.5	118.9	118.9	118.4	119.5	119.2	121.2	121.2	122.5
2006	H18	124.4	125.4	125.0	124.6	121.9	123.7	123.9	124.8	125.9	124.7	126.4	125.5
2007	H19	126.2	125.8	126.4	126.7	126.4	125.3	126.6	126.3	126.4	126.7	125.4	126.0
2008	H20	125.1	125.3	127.2	126.5	127.7	129.1	129.2	127.9	126.6	124.8	122.4	119.0
2009	H21	112.6	110.6	107.5	103.2	99.8	96.3	93.3	94.7	92.1	91.1	91.5	91.5
2010	H22	93.5	93.5	94.3	93.5	93.4	94.6	94.9	94.4	95.6	96.6	97.3	97.5
2011	H23	97.0	98.7	98.0	100.8	102.4	101.1	101.1	103.7	105.3	105.5	104.2	104.2
2012	H24	104.4	105.9	105.6	105.7	105.7	105.3	104.5	103.6	103.7	103.9	103.1	102.9
2013	H25	103.5	103.2	103.8	103.6	103.9	105.3	105.9	106.3	105.6	105.7	107.3	107.5
2014	H26	109.2	109.9	111.6	113.1	114.1	114.3	114.2	114.6	112.9	113.4	113.6	114.5
2015	H27	114.0	114.2	115.0	113.0	111.9	110.5	111.3	110.7	110.4	111.2	109.6	111.2
2016	H28	109.7	109.1	107.9	107.4	106.5	106.8	106.7	106.7	106.6	106.0	107.0	106.0
2017	H29	104.3	104.1	103.2	104.2	105.1	105.6	105.5	105.4	104.5	104.7	104.6	104.1
2018	H30	103.8	104.5	104.3	105.0	105.4	104.9	105.8	106.5	107.0	107.4	106.1	106.0
2019	H31/R1	107.3	108.9	109.4	109.1	108.7	108.7	108.9	109.6	109.5	110.3	110.4	109.8
2020	R2	108.3	105.6	105.7	105.1	103.0	100.6	99.2	96.4	95.3	94.4	93.6	92.8
2021	R3	93.4	93.3	93.2	92.7	94.2	94.9	95.7	95.9	96.3	95.3	95.0	95.4
2022	R4	96.2	96.5	97.8	97.7	96.3	97.2	97.6	99.1	99.3	100.6	101.4	101.5
2023	R5	100.9	100.1	98.7	99.2	98.7	98.8	97.7	96.6	96.2	95.8	94.7	94.0
2024	R6	93.0	94.8	95.6	94.5	95.4	95.9	96.0	96.6	95.1	96.3	97.4	98.2
2025	R7	98.4	96.7	97.1	98.3	99.2	98.8	100.7	99.6	100.8	102.9	101.8	100.5
2026	R8	100.3	101.5	103.2	101.5	101.7	102.8	102.2	102.5				

６．（参考）ＫＤＩの動向

（１）８月分ＫＤＩの各指数

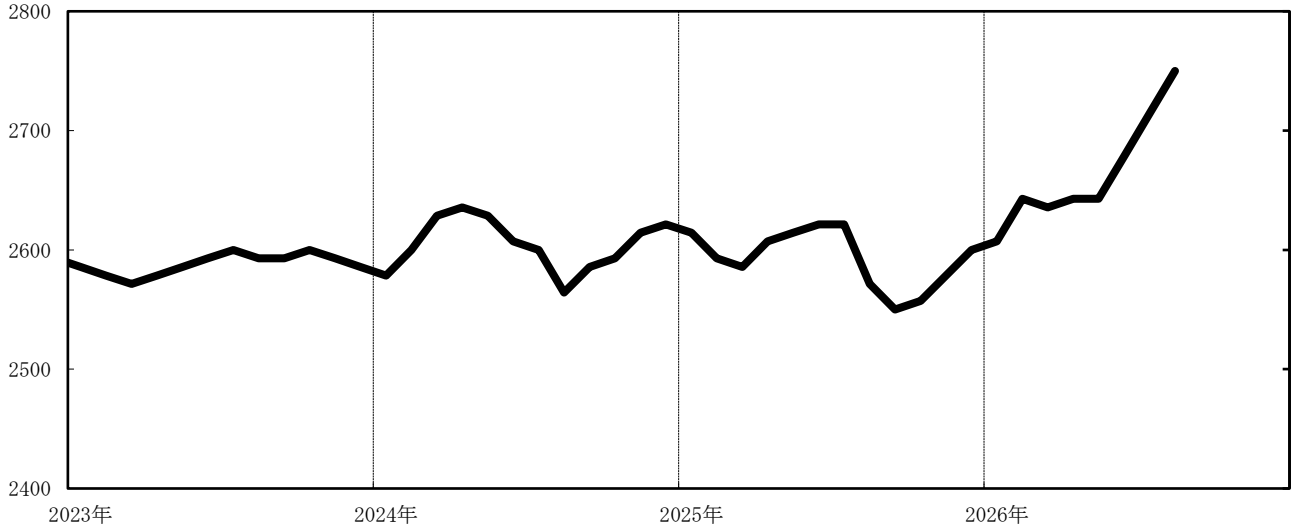
先行指数は、57.1％となり、３か月連続で50％を上回った。
一致指数は、85.7％となり、３か月連続で50％を上回った。
遅行指数は、33.3％となり、２か月ぶりに50％を下回った。

（２）ＫＤＩ変化方向表

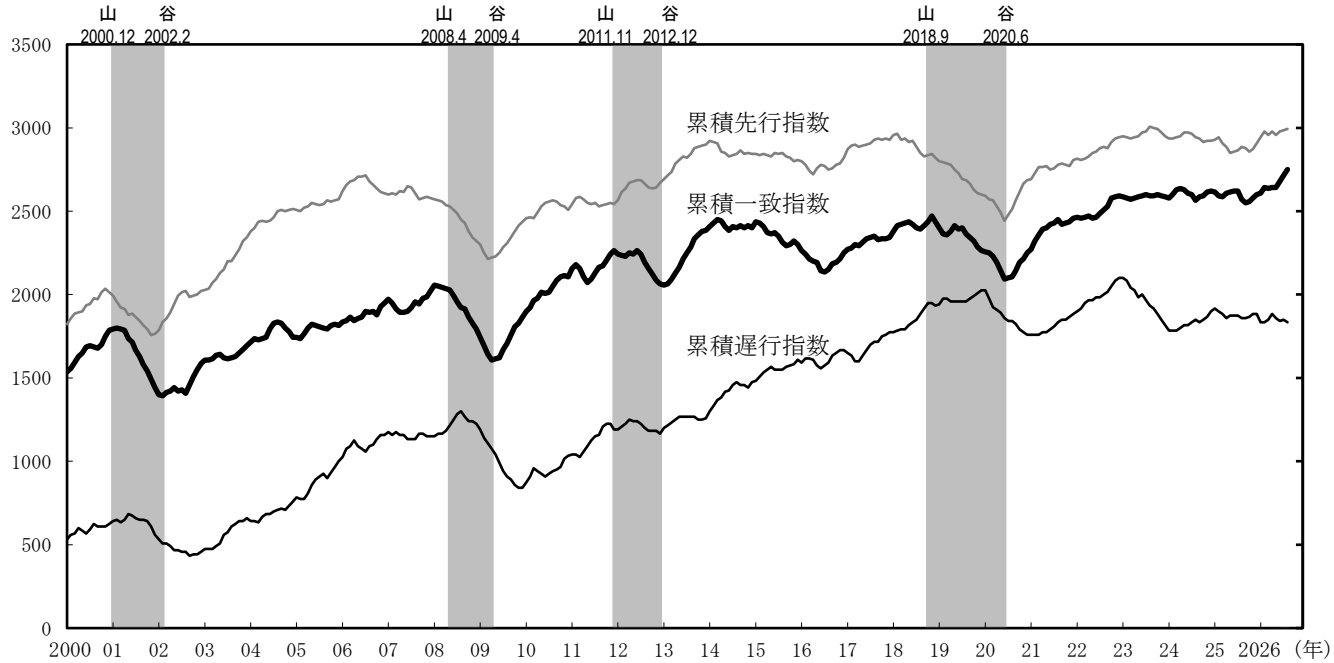
系列名		2025年 8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
先行系列	L1 県最終需要財在庫率指数(逆サイクル)	－	－	－	＋	＋	－	＋	－	－	－	－	＋	＋
	L2 県生産財在庫率指数(逆サイクル)	＋	－	－	－	＋	＋	＋	－	＋	－	＋	＋	－
	L3 県新規求人数(除く学卒)	＋	＋	－	－	＋	＋	－	＋	＋	＋	－	－	－
	L4 県乗用車新車新規登録・届出台数	－	－	－	＋	－	＋	＋	－	＋	－	＋	－	－
	L5 消費者態度指数(関東)	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	＋	＋	＋
	L6 県企業倒産件数(逆サイクル)	＋	－	－	0	＋	＋	＋	－	＋	－	＋	－	＋
	L7 日経商品指数(42種)	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
	拡張系列数	**5**	**3**	**2**	**4.5**	**6**	**6**	**6**	**2**	**5**	**2**	**5**	**4**	**4**
	採用系列数	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**
	先行指数(D.I.)　(%)	71.4	42.9	28.6	64.3	85.7	85.7	85.7	28.6	71.4	28.6	71.4	57.1	57.1
一致系列	C1 県生産指数(製造工業)	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	＋	＋	＋
	C2 県業況判断DI(全産業)	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	0	－	＋	＋
	C3 県投資財出荷指数	－	＋	＋	＋	＋	－	＋	－	＋	－	＋	＋	＋
	C4 県耐久消費財出荷指数	－	－	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
	C5 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	－	－	＋	－	＋	＋	＋	－	－	－	＋	＋	＋
	C6 県所定外労働時間指数(調査産業計)	－	－	＋	＋	－	－	－	－	＋	＋	＋	－	－
	C7 横浜港等輸出入通関実績	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	－	＋	＋	＋	＋
	拡張系列数	**0**	**2**	**4**	**5**	**5**	**4**	**6**	**3**	**4**	**3.5**	**6**	**6**	**6**
	採用系列数	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**	**7**
	一致指数(D.I.)　(%)	0.0	28.6	57.1	71.4	71.4	57.1	85.7	42.9	57.1	50.0	85.7	85.7	85.7
遅行系列	Lg1 県在庫指数(製造工業)	－	－	＋	＋	＋	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－
	Lg2 県普通営業倉庫保管残高	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	＋	－	－	＋	＋
	Lg3 県常用雇用指数(調査産業計)	－	＋	0	－	－	－	＋	＋	＋	0	－	＋	＋
	Lg4 県有効求職者数(除く学卒)(逆サイクル)	－	－	－	＋	＋	－	＋	＋	＋	－	－	－	－
	Lg5 家計消費支出(関東地方・勤労者世帯)	＋	＋	－	－	－	－	－	＋	＋	－	＋	－	－
	Lg6 消費者物価指数(横浜市・除く生鮮食品)	－	－	＋	＋	－	－	－	－	－	－	－	0	－
	拡張系列数	**2**	**3**	**3.5**	**4**	**3**	**0**	**3**	**4**	**5**	**1.5**	**2**	**3.5**	**2**
	採用系列数	**6**	**6**	**6**	**6**	**6**	**6**	**6**	**6**	**6**	**6**	**6**	**6**	**6**
	遅行指数(D.I.)　(%)	33.3	50.0	58.3	66.7	50.0	0.0	50.0	66.7	83.3	25.0	33.3	58.3	33.3

（注）景気が良ければ減少し、悪ければ増加する性質のある逆サイクルの指標は、増加をマイナスとし、減少をプラスとします。

７．（参考）ＫＤＩ累積一致指数短期時系列グラフ



８．（参考）ＫＤＩ累積指数長期時系列グラフ



（注1） 累積指数グラフは、景気の局面や山・谷を視覚的にとらえることができます。ただし、グラフ上の山の大きさや高さは景気の強弱や水準とは無関係です。

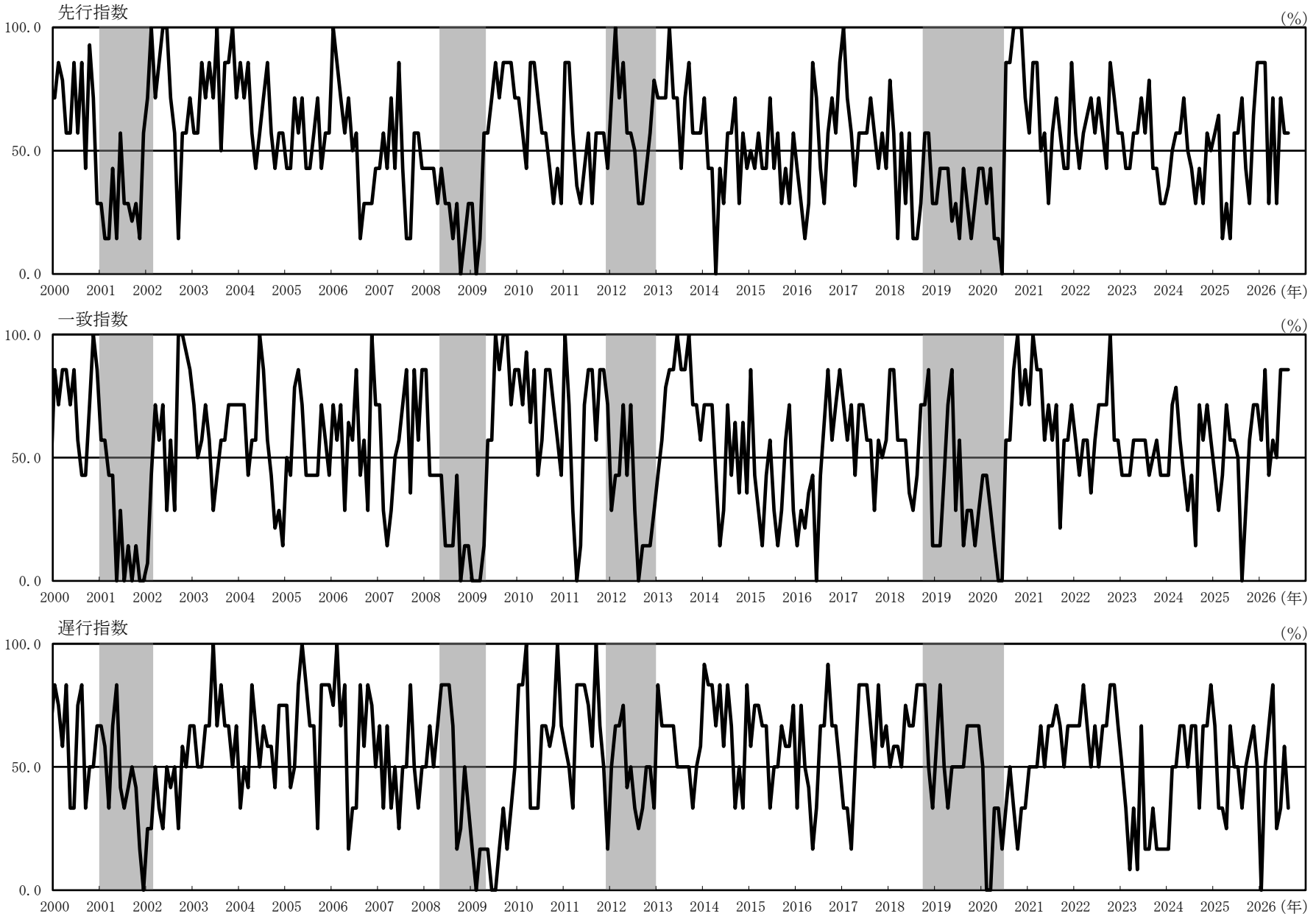
（注2） 累積指数は、2000年１月を起点として各月のＤＩ指数を次式により累積したものです。

累積ＤＩ＝前月までの累積ＤＩ＋（当月のＤＩ－５０）

（注3） グラフを見やすくするため、先行指数は1800、一致指数は1500、遅行指数は500を加算しています。

（注4） グラフ中の網かけ部分は、景気後退期を示しています。景気後退期及び山・谷は神奈川県のものです。

９．（参考）ＫＤＩ時系列グラフ



（注）網かけの部分は神奈川県の景気後退期。

10. （参考）ＫＤＩ時系列表

先行指数 (2020年=100)

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2000	H12	71.4	85.7	78.6	57.1	57.1	85.7	57.1	85.7	42.9	92.9	71.4	28.6
2001	H13	28.6	14.3	14.3	42.9	14.3	57.1	28.6	28.6	21.4	28.6	14.3	57.1
2002	H14	71.4	100.0	71.4	85.7	100.0	100.0	71.4	57.1	14.3	57.1	57.1	71.4
2003	H15	57.1	57.1	85.7	71.4	85.7	71.4	100.0	50.0	85.7	85.7	100.0	71.4
2004	H16	85.7	71.4	85.7	57.1	42.9	57.1	71.4	85.7	57.1	42.9	57.1	57.1
2005	H17	42.9	42.9	71.4	57.1	71.4	42.9	42.9	57.1	71.4	42.9	57.1	57.1
2006	H18	100.0	85.7	71.4	57.1	71.4	50.0	57.1	14.3	28.6	28.6	28.6	42.9
2007	H19	42.9	57.1	42.9	71.4	42.9	85.7	42.9	14.3	14.3	57.1	57.1	42.9
2008	H20	42.9	42.9	42.9	28.6	42.9	28.6	28.6	14.3	28.6	0.0	14.3	28.6
2009	H21	28.6	0.0	14.3	57.1	57.1	71.4	85.7	71.4	85.7	85.7	85.7	71.4
2010	H22	71.4	57.1	42.9	85.7	85.7	71.4	57.1	57.1	42.9	28.6	42.9	28.6
2011	H23	85.7	85.7	57.1	35.7	28.6	42.9	57.1	28.6	57.1	57.1	57.1	42.9
2012	H24	71.4	100.0	71.4	85.7	57.1	57.1	50.0	28.6	28.6	42.9	57.1	78.6
2013	H25	71.4	71.4	71.4	100.0	71.4	71.4	42.9	71.4	85.7	57.1	57.1	57.1
2014	H26	71.4	42.9	42.9	0.0	42.9	28.6	57.1	57.1	71.4	28.6	57.1	42.9
2015	H27	50.0	42.9	57.1	42.9	42.9	71.4	42.9	57.1	28.6	42.9	28.6	57.1
2016	H28	42.9	28.6	14.3	28.6	85.7	71.4	42.9	28.6	57.1	71.4	57.1	85.7
2017	H29	100.0	71.4	57.1	35.7	57.1	57.1	57.1	71.4	57.1	42.9	57.1	42.9
2018	H30	78.6	57.1	14.3	57.1	28.6	57.1	14.3	14.3	28.6	57.1	57.1	28.6
2019	H31/R1	28.6	42.9	42.9	42.9	21.4	28.6	14.3	42.9	28.6	14.3	28.6	42.9
2020	R2	42.9	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0	85.7	85.7	100.0	100.0	100.0	71.4
2021	R3	57.1	85.7	85.7	50.0	57.1	28.6	57.1	71.4	57.1	42.9	42.9	85.7
2022	R4	57.1	42.9	57.1	64.3	71.4	57.1	71.4	57.1	42.9	85.7	71.4	57.1
2023	R5	57.1	42.9	42.9	57.1	57.1	71.4	57.1	78.6	42.9	42.9	28.6	28.6
2024	R6	35.7	50.0	57.1	57.1	71.4	50.0	42.9	28.6	42.9	28.6	57.1	50.0
2025	R7	57.1	64.3	14.3	28.6	14.3	57.1	57.1	71.4	42.9	28.6	64.3	85.7
2026	R8	85.7	85.7	28.6	71.4	28.6	71.4	57.1	57.1				

一致指数 (2020年=100)

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2000	H12	85.7	71.4	85.7	85.7	71.4	85.7	57.1	42.9	42.9	71.4	100.0	85.7
2001	H13	57.1	57.1	42.9	42.9	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
2002	H14	7.1	42.9	71.4	57.1	71.4	28.6	57.1	28.6	100.0	100.0	92.9	85.7
2003	H15	71.4	50.0	57.1	71.4	57.1	28.6	42.9	57.1	57.1	71.4	71.4	71.4
2004	H16	71.4	71.4	42.9	57.1	57.1	100.0	85.7	57.1	42.9	21.4	28.6	14.3
2005	H17	50.0	42.9	78.6	85.7	71.4	42.9	42.9	42.9	42.9	71.4	57.1	42.9
2006	H18	71.4	57.1	71.4	28.6	64.3	57.1	85.7	42.9	57.1	28.6	100.0	71.4
2007	H19	71.4	28.6	14.3	28.6	50.0	57.1	71.4	85.7	35.7	85.7	57.1	85.7
2008	H20	85.7	42.9	42.9	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	42.9	0.0	14.3	14.3
2009	H21	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1	57.1	100.0	85.7	100.0	100.0	71.4	85.7
2010	H22	85.7	71.4	92.9	64.3	85.7	42.9	57.1	85.7	85.7	71.4	57.1	42.9
2011	H23	100.0	71.4	28.6	0.0	14.3	71.4	85.7	85.7	57.1	85.7	85.7	71.4
2012	H24	28.6	42.9	42.9	71.4	42.9	71.4	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3	28.6
2013	H25	42.9	57.1	78.6	85.7	85.7	100.0	85.7	85.7	100.0	71.4	71.4	57.1
2014	H26	71.4	71.4	71.4	42.9	14.3	28.6	71.4	42.9	64.3	35.7	64.3	35.7
2015	H27	85.7	42.9	28.6	14.3	42.9	57.1	28.6	14.3	28.6	57.1	71.4	28.6
2016	H28	14.3	28.6	21.4	35.7	42.9	0.0	42.9	64.3	85.7	57.1	71.4	85.7
2017	H29	71.4	57.1	71.4	42.9	71.4	71.4	57.1	57.1	28.6	57.1	50.0	57.1
2018	H30	85.7	85.7	57.1	57.1	57.1	35.7	28.6	42.9	71.4	71.4	85.7	14.3
2019	H31/R1	14.3	14.3	42.9	71.4	85.7	28.6	57.1	14.3	28.6	28.6	14.3	28.6
2020	R2	42.9	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	57.1	57.1	85.7	100.0	71.4	85.7
2021	R3	71.4	100.0	85.7	85.7	57.1	71.4	57.1	71.4	21.4	57.1	57.1	71.4
2022	R4	57.1	42.9	57.1	57.1	35.7	57.1	71.4	71.4	71.4	100.0	57.1	57.1
2023	R5	42.9	42.9	42.9	57.1	57.1	57.1	57.1	42.9	50.0	57.1	42.9	42.9
2024	R6	42.9	71.4	78.6	57.1	42.9	28.6	42.9	14.3	71.4	57.1	71.4	57.1
2025	R7	42.9	28.6	42.9	71.4	57.1	57.1	50.0	0.0	28.6	57.1	71.4	71.4
2026	R8	57.1	85.7	42.9	57.1	50.0	85.7	85.7	85.7				

遅行指数

(2020年=100)

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2000	H12	83.3	75.0	58.3	83.3	33.3	33.3	75.0	83.3	33.3	50.0	50.0	66.7
2001	H13	66.7	58.3	33.3	66.7	83.3	41.7	33.3	41.7	50.0	41.7	16.7	0.0
2002	H14	25.0	25.0	50.0	33.3	25.0	50.0	41.7	50.0	25.0	58.3	50.0	66.7
2003	H15	66.7	50.0	50.0	66.7	66.7	100.0	66.7	83.3	66.7	66.7	50.0	66.7
2004	H16	33.3	50.0	41.7	83.3	66.7	50.0	66.7	58.3	58.3	41.7	75.0	75.0
2005	H17	75.0	41.7	50.0	83.3	100.0	83.3	66.7	66.7	25.0	83.3	83.3	83.3
2006	H18	75.0	100.0	66.7	83.3	16.7	33.3	33.3	83.3	58.3	83.3	75.0	50.0
2007	H19	66.7	33.3	66.7	33.3	50.0	25.0	50.0	50.0	83.3	50.0	33.3	50.0
2008	H20	50.0	66.7	50.0	66.7	83.3	83.3	83.3	66.7	16.7	25.0	50.0	33.3
2009	H21	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	33.3	50.0
2010	H22	83.3	83.3	100.0	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	58.3	66.7	100.0	66.7
2011	H23	58.3	50.0	33.3	83.3	83.3	83.3	75.0	58.3	100.0	66.7	50.0	16.7
2012	H24	50.0	66.7	66.7	75.0	41.7	50.0	33.3	25.0	33.3	50.0	50.0	33.3
2013	H25	83.3	66.7	66.7	66.7	66.7	50.0	50.0	50.0	50.0	33.3	50.0	58.3
2014	H26	91.7	83.3	83.3	66.7	83.3	58.3	83.3	66.7	33.3	50.0	33.3	83.3
2015	H27	58.3	75.0	75.0	66.7	66.7	33.3	50.0	50.0	66.7	58.3	58.3	75.0
2016	H28	33.3	75.0	50.0	41.7	16.7	33.3	66.7	66.7	91.7	66.7	66.7	50.0
2017	H29	33.3	33.3	16.7	50.0	83.3	83.3	83.3	66.7	50.0	83.3	58.3	66.7
2018	H30	50.0	58.3	58.3	50.0	75.0	66.7	66.7	83.3	83.3	83.3	50.0	33.3
2019	H31/R1	58.3	83.3	50.0	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0	66.7	66.7	66.7	66.7
2020	R2	50.0	0.0	0.0	33.3	33.3	16.7	33.3	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3
2021	R3	50.0	50.0	50.0	66.7	50.0	66.7	66.7	75.0	66.7	50.0	66.7	66.7
2022	R4	66.7	66.7	83.3	66.7	50.0	66.7	50.0	66.7	66.7	83.3	83.3	66.7
2023	R5	50.0	33.3	8.3	33.3	8.3	66.7	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7
2024	R6	16.7	50.0	50.0	66.7	66.7	50.0	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	83.3
2025	R7	66.7	33.3	33.3	25.0	66.7	50.0	50.0	33.3	50.0	58.3	66.7	50.0
2026	R8	0.0	50.0	66.7	83.3	25.0	33.3	58.3	33.3				

11. 神奈川県景気動向指数個別系列の数値

先行系列

指標名 / 年月	L1 県最終需要財在庫率指数(逆サイクル) 季節調整値 2020年=100	L2 県生産財在庫率指数(逆サイクル) 季節調整値 2020年=100	L3 県新規求人数(除く学卒) 季節調整値 人	L4 県乗用車新車新規登録・届出台数 季節調整値※ 台	L5 消費者態度指数(関東) 実数値	L6 県企業倒産件数(逆サイクル) 実数値 件	L7 日経商品指数(42種) 実数値 1970年=100
2025.8	120.7	115.7	32,585	19,050	35.5	43	264.760
9	111.2	111.2	31,482	19,907	35.8	50	265.171
10	116.1	121.1	31,210	19,163	36.3	62	269.652
11	111.3	138.3	32,187	19,339	37.2	43	269.753
12	107.8	107.4	32,442	19,406	37.4	47	269.868
2026.1	118.3	111.1	32,581	19,814	37.7	52	275.607
2	108.1	102.0	30,213	21,064	39.8	35	279.402
3	131.0	118.7	32,959	18,378	34.0	59	284.362
4	400.0	100.7	35,086	22,824	32.6	46	294.176
5	182.7	102.1	32,955	21,054	33.8	43	300.223
6	131.8	102.6	32,227	21,767	34.4	46	296.583
7	133.6	98.6	34,438	20,827	35.2	48	300.559
8	130.7	106.5	32,432	19,797	35.6	40	304.303

一致系列

指標名 / 年月	C1 県生産指数(製造工業) 季節調整値 2020年=100	C2 県業況判断DI(全産業) 実数値・線形補間 ポイント	C3 県投資財出荷指数 季節調整値 2020年=100	C4 県耐久消費財出荷指数 季節調整値 2020年=100	C5 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル) 季節調整値※ 人	C6 県所定外労働時間指数(調査産業計) 季節調整値※ 2020年=100	C7 横浜港等輸出入通関実績 季節調整値※ 百万円
2025.8	106.8	20.0	114.8	89.6	6,964	104.7	1,531,361
9	115.1	19.0	131.8	96.3	7,166	113.7	1,585,952
10	116.6	20.0	137.7	82.2	7,045	118.1	1,607,834
11	109.7	21.0	124.3	78.3	6,967	112.9	1,650,022
12	121.2	22.0	141.4	49.4	6,838	111.2	1,659,801
2026.1	121.0	22.7	118.7	63.3	6,143	114.4	1,904,858
2	114.1	23.3	126.6	78.9	6,339	106.8	1,857,803
3	104.6	24.0	103.8	79.6	9,391	108.8	1,838,563
4	119.3	23.7	129.5	94.5	7,222	117.4	1,757,785
5	104.9	23.3	96.3	93.9	7,566	117.4	1,888,715
6	119.3	23.0	119.0	192.6	8,461	119.9	2,004,751
7	127.6	24.3	130.4	190.3	5,757	109.0	1,947,957
8	124.2	25.7	140.1	203.8	6,388	106.9	2,031,490

遅行系列

指標名 / 年月	Lg1 県在庫指数(製造工業) 季節調整値 2020年=100	Lg2 県普通営業倉庫保管残高 季節調整値※ トン	Lg3 県常用雇用指数(調査産業計) 前年同月比 %	Lg4 県有効求職者数(除く学卒)(逆サイクル) 季節調整値 人	Lg5 家計消費支出(関東地方・勤労者世帯) 前年同月比 %	Lg6 消費者物価指数(横浜市・除く生鮮食品) 前年同月比 %
2025.8	98.7	2,874,081	99.6	113,998	110.3	102.4
9	94.9	2,911,938	100.1	113,847	118.0	102.7
10	101.5	3,024,788	99.8	113,490	113.6	103.0
11	99.1	3,008,452	99.2	113,224	109.9	102.8
12	96.5	2,988,080	99.6	112,727	98.9	102.3
2026.1	100.6	2,942,867	99.3	114,115	100.5	102.2
2	102.0	2,956,088	99.7	112,954	103.5	102.1
3	111.7	2,961,975	100.2	112,312	100.1	102.2
4	104.7	3,009,278	99.4	113,871	101.3	102.0
5	110.0	2,934,215	99.7	115,469	101.5	102.0
6	119.6	2,943,473	99.6	116,061	102.5	101.9
7	113.0	3,009,881	99.6	116,224	87.9	102.0
8	108.3	3,096,607	100.1	117,245	91.1	101.9

※　神奈川県景気動向指数を作成する際に、独自に季節調整を行っています。

12. 神奈川県景気基準日付

谷	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環
	1980年 6月	1983年 2月		32か月	
1983年 2月	1985年 6月	1986年12月	28か月	18か月	46か月
1986年12月	1991年 3月	1994年 2月	51か月	35か月	86か月
1994年 2月	1997年 6月	1999年 7月	40か月	25か月	65か月
1999年 7月	2000年12月	2002年 2月	17か月	14か月	31か月
2002年 2月	2008年 4月	2009年 4月	74か月	12か月	86か月
2009年 4月	2011年11月	2012年12月	31か月	13か月	44か月
2012年12月	2018年9月	2020年6月	69か月	21か月	90か月

景気基準日付とは主要経済活動の中心的な転換点で、景気の転換点です。景気基準日付は景気循環の局面判断や各循環における経済活動の比較などに利用されます。
景気が拡張から後退に転ずる転換点が景気の山で、景気が後退から拡張へ転ずる転換点が景気の谷です。

13. 神奈川県景気動向指数個別系列の概要

	指標名	季節調整法等	作成機関	資料出所
先行系列	L1 県最終需要財在庫率指数(逆サイクル)	X-12-ARIMA	県統計センター	工業生産指数月報
	L2 県生産財在庫率指数(逆サイクル)	X-12-ARIMA	県統計センター	工業生産指数月報
	L3 県新規求人数(除く学卒)	X-12-ARIMA	神奈川労働局職業安定部	労働市場速報
	L4 県乗用車新車新規登録・届出台数 ※2	X-12-ARIMA※1	神奈川県自動車販売店協会 (一社)全国軽自動車協会連合会	車種別新車登録台数 軽四輪車県別新車販売台数
	L5 消費者態度指数(関東)	実数	内閣府経済社会総合研究所	消費動向調査
	L6 県企業倒産件数(逆サイクル)	実数	㈱東京商工リサーチ	神奈川県・企業倒産状況
	L7 日経商品指数(42種)	実数	㈱日本経済新聞社	日本経済新聞
一致系列	C1 県生産指数(製造工業)	X-12-ARIMA	県統計センター	工業生産指数月報
	C2 県業況判断DI※3	実数	日本銀行横浜支店	企業短期経済観測調査
	C3 県投資財出荷指数	X-12-ARIMA	県統計センター	工業生産指数月報
	C4 県耐久消費財出荷指数	X-12-ARIMA	県統計センター	工業生産指数月報
	C5 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	X-12-ARIMA※1	神奈川労働局職業安定部	労働市場速報
	C6 県所定外労働時間指数(調査産業計)	X-12-ARIMA※1	県統計センター	神奈川県毎月勤労統計調査地方調査結果報告
	C7 横浜港等輸出入通関実績 ※4	X-12-ARIMA※1	横浜税関	横浜税関管内貿易速報
遅行系列	Lg1 県在庫指数(製造工業)	X-12-ARIMA	県統計センター	工業生産指数月報
	Lg2 県普通営業倉庫保管残高	X-12-ARIMA※1	神奈川倉庫協会	作成機関資料
	Lg3 県常用雇用指数(調査産業計)	前年同月比	県統計センター	神奈川県毎月勤労統計調査地方調査結果報告
	Lg4 県有効求職者数(除く学卒)(逆サイクル)	X-12-ARIMA	神奈川労働局職業安定部	労働市場速報
	Lg5 家計消費支出(関東地方・勤労者世帯)	前年同月比	総務省統計局	家計調査結果(二人以上の世帯)
	Lg6 消費者物価指数(横浜市・除く生鮮食品)	前年同月比	総務省統計局	消費者物価指数

※1 神奈川県景気動向指数を作成する際に、独自に季節調整を行っています。
※2 普通車、小型車及び軽四輪車を合計しています。
※3 四半期データですが、月次化するために四半期にあたる３か月のそれぞれの変化量を等しいとして線形補間を行っています。
※4 横浜港、川崎港及び横須賀港の貿易額（輸出入額）を合計しています。

14. 利用の手引き

（１）景気動向指数の概要

景気動向指数とは、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することにより、景気の現状把握及び将来予測に資するために作成された指標です。

景気動向指数には、ＣＩ（コンポジット・インデックス）とＤＩ（ディフュージョン・インデックス）があります。ＣＩは構成指標の動き（変化量）を合成することで過去と比較した相対的な景気変動の大きさや勢いを測定します。ＤＩは構成指標のうち改善している指標の割合を算出することで景気の各経済部門への波及の度合い（波及度）を測定し、景気が拡張局面なのか後退局面なのかといった景気の方向性を示します。

それぞれ景気に対し先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の３本の指数があります。景気の現状把握に一致指数を利用し、先行指数は、一般的に、一致指数に数か月先行することから、景気の動きを予測する目的で利用します。遅行指数は、一般的に、一致指数に数か月から半年程度遅行することから、事後的な確認に用います。

内閣府において全国のＣＩとＤＩを公表しており、神奈川県では県版ＣＩを神奈川ＣＩとし、県版ＤＩをＫＤＩとして公表しています。神奈川ＣＩとＫＤＩの構成指標は共通の指標としており、先行指数７、一致指数７、遅行指数６の20系列です。

なお、景気動向指数は、各経済部門から選ばれた指標の動きを統合して、単一の指標によって景気を把握しようとするものであり、すべての経済指標を総合的に勘案して景気を捉えようとするものではないことに留意する必要があります。

（２）神奈川ＣＩ

ア．目的

神奈川ＣＩは、神奈川県の景気変動の大きさや勢いを測定することを目的としています。

イ．利用の仕方

一般的に、ＣＩ一致指数が上昇している時は景気の拡張局面で、低下している時は後退局面であり、ＣＩ一致指数の動きと景気の転換点（景気の山・谷）は概ね一致します。ＣＩ一致指数の変化の大きさから、景気の拡張又は後退の変動の大きさを読み取ります。ただし、例えば景気の拡張局面においても、ＣＩ一致指数が単月で低下するなど、不規則な動きも含まれていることから、移動平均値をとることにより、ある程度の期間の月々の動きをならして、その基調的な動きを読み取ります。毎月の統計表には、足下の基調の変化をつかみやすい３か月後方移動平均と、足下の基調の変化が定着しつつあることを確認する７か月後方移動平均をあわせて掲載しています。

景気の基調をみる上では、経済活動の拡張（又は後退）がある程度の期間、持続しているか、またある程度の大きさで変化しているかが重要です。したがって、一致ＣＩが続けて上昇（又は下降）していても、その期間が極めて短い場合は、拡張（又は後退）と見なすことは適当ではありません。また、ＣＩ一致指数がこれまでの基調と逆方向に十分に振れてから、その基調が変化したと見なします。

ウ．作成方法

神奈川ＣＩの作成方法は、内閣府のＣＩ作成方法に準じています。神奈川ＣＩの作成方法を簡潔に述べると、個別指標における前月比変化率を、過去の平均的な変動と比較することによって基準化し、それらの平均を求めて合成し、指数化します。

なお、個別指標の外れ値によるＣＩの振れを抑えるため、個別指標の変動のうち急激な部分について外れ値処理を行っています。

（３）ＫＤＩ

ア．目的

ＫＤＩは、神奈川県の景気拡張の動きの各経済部門への波及度合いを測定することを主な目的としています。

イ．利用の仕方

ＤＩは採用系列のうち改善している指標の割合のことで、景気の各経済部門への波及の度合いを表します。月々の振れがあるものの、一般的には、景気の拡張期には一致指数が50％を上回る期間が多くなり、50％を下回る期間が連続すると後退期の可能性があります。

なお、ＤＩは、景気の拡張が経済活動のより多くの分野に浸透していったことを示す指標であり、景気変化の強さや水準を表すものではありません。このため、現実の経済活動の中で感じられる実感とは異なることがあります。

ウ．作成方法

採用系列の各月の値を、不規則変動の影響を緩和させるため、３か月前の値と比較して、増加を＋、減少をー、変化がない保合い（もちあい）の時には０とします。（景気が良ければ減少し、悪ければ増加する性質のある逆サイクルの系列は増加をー、減少を＋とします。）

その上で、先行、一致、遅行の系列ごとに、採用系列数に占める拡張系列数（＋の数）の割合（％）をＤＩとします。

ＤＩ＝拡張系列数／採用系列数×１００（％）
（保合い（０）の場合は0.5としてカウント）

（４）ＣＩとＤＩの違い

ＤＩは景気の各経済部門への波及の度合いを表す指標ですので、各採用系列が大幅に拡張しても、小幅に拡張しても、拡張系列の割合が同じならば同じＤＩが計測されます。ＣＩは景気の強弱を定量的に計測する指標ですので、ＤＩが同じ数値で計測されたとしても、各採用系列が大幅に拡張していればＣＩは大幅に上昇し、各採用系列が小幅に拡張しているならばＣＩは小幅に上昇します。このように、ＣＩは、ＤＩでは計測できない景気の山の高さや谷の深さ、拡張や後退の勢いといった景気の「量感」を計測することができます。

一方、ＤＩが異なる数値で計測されたとしても、多くの系列で小幅に拡張した時と、一部の系列が大幅に上昇した時とで、同じＣＩの上昇幅が得られる場合があります。このように、ＣＩの変化幅そのものからは経済部門の相違を把握することが難しいため、ＣＩの変化幅に対する各採用系列の寄与度やＤＩをあわせて利用します。

（５）神奈川県景気基準日付

いわゆる景気の山、谷である景気基準日付とは、主要経済指標の中心的な転換点です。景気が拡張から後退に転ずる転換点が景気の山で、景気が後退から拡張へ転ずる転換点が景気の谷です。神奈川県では、内閣府が設定している景気基準日付と同様に、景気循環の局面判断や各循環における経済活動の比較などのため神奈川県景気基準日付を設定しています。

神奈川県景気基準日付は、神奈川県景気動向指数の一致指数の個別指標のうち過半がピーク（ボトム）をつけたことを景気の山（谷）の判定の根拠とし、検証した上で設定しています。

全国の第16循環の景気基準日付に対応する神奈川県景気基準日付について、2023年３月に、それまで暫定設定としていた景気の山（2018年11月）及び谷（2020年６月）を、景気の山を「2018年９月」、景気の谷を「2020年６月」と確定しました。

（６）神奈川県景気動向指数の改定

ア．採用系列の入替え

複数の指標の動きを統合した指標である景気動向指数は、その採用系列が現在の景気の動きを十分反映しているかどうか必要に応じて点検を行い、入替えを行っています。

神奈川県では、2021年３月に採用系列の入替えを実施しました。一致指数は、県生産財出荷指数を除外し、県業況判断ＤＩ（全産業）を新たに採用、遅行指数は、県内銀行貸出約定平均金利を除外することとしました。

イ．神奈川ＣＩ中心への公表形態の移行

神奈川県においては、内閣府での2008年６月のＣＩ中心の公表形態への移行を契機に、ＫＤＩを補完する参考指標として、2011年１月より神奈川ＣＩ（一致指数のみ）の公表を開始しました。

その後、2013年３月に実施した採用系列の入替えにより神奈川ＣＩのパフォーマンスが向上したことから、2013年３月にＫＤＩから神奈川ＣＩ中心の公表形態へ移行するとともに、ＣＩ先行指数及びＣＩ遅行指数の公表を開始しました。

なお、ＫＤＩも景気の波及度を把握するための重要な指標ですので、引き続き、作成、公表しています。

（７）季節調整

統計調査等によって集計された値には、毎年繰り返される規則的な増減（季節変動）が含まれることが多く、景気変動を把握するため、公表される統計の値から季節変動を除去することを季節調整といい、その方法として、米センサス局法X-12-ARIMAや前年同月比を用いています。